

農業水利施設の紹介

貯水



貯水施設

農業用水を貯めるダムやため池などの施設です。雨水や雪解け水を貯め、降水量の季節変化や灌漑水の需要に応じて、農業用水の供給を調節する役割を持っています。

分水



分水施設

水路を流れている農業用水を決められた地域に、所定の流量や水位に調整し、分配する施設です。水不足の地域では、公平に分水していることが一目でわかる円筒(形)分水工や射流分水工などの施設が地域の水争いを治めてきました。

取水



取水施設

河川などから農業用水を水路へ取り入れる施設です。頭首工(とうしゅこう)、取水堰、取水口などと呼ばれ、堰や水門などの付帯設備で取り入れ水位や取水量を調整します。

排水



排水施設

農地や集落などからの排水を集めて排水本川へ導く水路やポンプ設備です。水路を排水路、ポンプ設備のある施設を排水機場と呼びます。作物の生育や農作業、住民の生活などに支障となる水を排除する役割をもっています。

用水



用水施設

農業用水を農地へ送水、配水するための水路やポンプ設備などです。水路を用水路、ポンプ設備のある施設を用(揚)水機場と呼びます。近年、田や畑への給水にはパイプラインが用いられることが多くなりました。

発電



発電施設(水力)

農業用のダムや水路などの水の位置エネルギー(落差)を利用して発電します。売電代金は農業水利施設の施設維持費の一部に充てられています。出力規模によって小水力発電(数千kw以下)やマイクロ水力発電(100kw以下)と呼ぶこともあります。

農業水利施設の紹介 (イメージ)

